

## 2023年度 第5回日本科学教育学会研究会(四国支部開催)プログラム

[テーマ] 学習指導要領改訂に向けて～「個別最適な学びと協働的な学び」の再考を軸として～

[日時] 2024年6月1日(土)9:30～15:40

[会場] 高知大学 朝倉キャンパス 教育学部51番教室

[日程] 9:00～9:30 受付  
 9:30～9:40 開会  
 9:40～11:00 研究発表(午前の部前半)  
 11:00～11:10 休憩  
 11:10～12:10 研究発表(午前の部後半)  
 12:10～13:30 昼食(四国支部総会)  
 13:30～14:50 研究発表(午後の部前半)  
 14:50～15:00 休憩  
 15:00～15:40 研究発表(午後の部後半)  
 終了

座長	赤松直	研究発表(午前の部前半)
A01	9:40-10:00	中学校理科授業における3Dプリンターを用いた教材開発～単元「生物のからだのつくりとはたらき」～ ○古和田丈人(愛媛大学教育学研究科)、隅田学(愛媛大学教育学部)
A02	10:00-10:20	学習指導要領の内容の変化への疑問 ○渡辺信(生涯学習数学研究所)
A03	10:20-10:40	化学基礎「酸・塩基と中和」単元における生徒の多様な理解の実態 ○中村千紗(愛媛大学教育学研究科)、隅田学(愛媛大学教育学部)
A04	10:40-11:00	デザイン思考を促すSTEAM教育実践が示唆するこれからの教科の学び ○三崎隆(信州大学名誉教授・都留文科大学)、山崎慶太(岡谷市立岡谷田中小学校)
	11:00-11:10	休憩
座長	林敏浩	研究発表(午前の部後半)
A05	11:10-11:30	Well-being向上を担える理科・生活科の小学校教員養成に関する考察:初等・幼児教育系大学生の地球環境問題に対する提案の分析を通して ○杉本剛(関西福祉大学教育学部, 東北大学大学院教育学研究科)
A06	11:30-11:50	現象の仕組みを理解するために必要な複数の要素の扱われ方に関する一考察 A Consideration on Views of Multiple Factors Necessary for Understanding Mechanisms of Phenomena ○野村祐子(災害教育研究所)
A07	11:50-12:10	小中学生を対象とする次世代の科学者育成プログラムの実証的評価 ○早藤幸隆(鳴門教育大学)

12:10-13:30 昼休憩・四国支部総会

座長 早藤幸隆 研究発表(午後の部前半)

A08 13:30-13:50 高等学校における課題研究の指導力育成プログラムの開発と実践  
10年目を迎える「えひめサイエンスリーダースキルアッププログラム」の成果と課題

○向平和・隅田学・中本剛・岡本威明・中村依子・日詰雅博・佐野栄・安部利之・吉村直道(愛媛大学教育学部)、島崎洋次・加藤晶(愛媛大学大学院理工学研究科)、八木康行(愛媛県教育委員会)、都築克征(愛媛県総合教育センター, 現松山東高等学校)、三瀬裕子(愛媛県総合教育センター, 現:新居浜工業高等学校)、越智亮平・参河厚史・村上貴彦・稲葉正和(愛媛県総合教育センター)

A09 13:50-14:10 Webシステムを活用した異校種理科授業研究の可能性と課題

○稲垣佑(愛媛大学教育学研究科)、隅田学(愛媛大学教育学部)

A10 14:10-14:30 我が国の稀少野生動物に着目した生物多様性保全教育の観点:絶滅危惧要因とその対策

○三宅志穂(神戸女学院大学人間科学部環境・バイオサイエンス学科)

A11 14:30-14:50 「教職大学院」に関する日本国内の研究動向(I)

○笠沙敏彦(常葉大学)

14:50-15:00 休憩

座長 隅田学 研究発表(午後の部後半)

A12 15:00-15:20 香川大学の数理・データサイエンス・AIリテラシープログラムにおける4年間の授業評価アンケート分析

○藤澤修平(香川大学大学教育基盤センター特命講師)、林敏浩・藤本憲市・後藤田中・高橋尚志(香川大学)

A13 15:20-15:40 タイ国の高等学校化学教育におけるNOST(科学と技術の本質)理解の評価~化学反応速度を題材にして~

○中島康(早稲田大学高等学院)、チャトリー・ファイクハムタ(カセサート大学)